

第1章 背景と問題	1
1-1 慢性痛とは	1
1-2 慢性痛に対する治療法	4
1-3 難治性慢性痛に対する ECT	9
1-3-1 痛みの治療への ECT の応用	9
1-3-2 ECT を受ける難治性慢性痛患者の置かれている現状	12
1-3-3 痛みの治療としての ECT に関する先行研究と問題点	13
第2章 本研究の目的と意義	15
2-1 本研究の目的	15
2-2 本研究の意義	20
第3章 慢性痛患者の心理状態に関する調査	21
3-1 慢性痛患者ならびに痛みの治療としての ECT を受ける 難治性慢性痛患者の心理に関する先行研究	21
3-2 ペインクリニックを受診する慢性痛患者の心理的評価	23
【問題と目的】	23
【対象と方法】	24
【結果】	25
【考察】	35
【まとめ】	44
3-3 ECT 患者と非 ECT 慢性痛患者の心理的評価の比較	44
【問題と目的】	44

【対象と方法】	45
【結果】	48
【考察】	52
【まとめ】	57
3-4 ECT 患者の心理状態に関する原因疾患別の比較	58
【問題と目的】	58
【対象と方法】	58
【結果】	59
【考察】	59
3-5 半構造化面接において述べられた，慢性痛患者に対して ECT を 行う際に関する問題点	66
第 4 章 痛みの治療目的の ECT の行われ方の現状	69
4-1 痛みへの ECT を実施している施設のマニュアルの有無の調査	69
【目的】	69
【対象と方法】	69
【結果】	69
【考察】	70
4-2 自施設の痛みの治療目的の ECT 患者への説明等対応の実態の調査	70
【問題と目的】	70
【方法】	70
【結果と考察】	70

第5章	ガイドライン作成	72
5-1	痛みへの治療を目的とするECTを受療する難治性慢性痛患者 に対するヒアリング調査（直面している問題やニーズに関する M-GTAによる探索）	72
	【問題と目的】	72
	【対象と方法】	72
	【結果及び考察】	74
	I. コアカテゴリーレベルでの全体のプロセスの概要	74
	II. 各コアカテゴリー内の内容について	82
	(1) 《患者の抱える問題》	82
	ア) カテゴリー【ECTに対する不安】	82
	イ) カテゴリー【精神科受診に関する不安】	89
	(2) 《医療側の対応》	96
	ア) カテゴリー【患者の不安や疑問への対策】	96
	イ) カテゴリー【医療側の改善策】	113
	(3) 《QOLの改善・アドヒアランスの向上》	121
	III. ストーリーライン	144
5-2	修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチの結果に基づく、 難治性慢性痛に対するECTを行う際の治療ガイドライン作成	146
第6章	ガイドラインの有用性の検討	155
	研究1	
	【目的】	155
	【対象と方法】	155

【結果】	156
研究 2	
【目的】	166
【対象と方法】	166
【結果】	166
【考察】	172
第 7 章 総合考察	182
引用文献	190
謝辞	202